

# 白馬村民 フォーラム通信

Vol. 14

2005/6/16発行

発行：  
白馬村民フォーラム（代表：尾川耕）  
事務局&連絡先：  
白馬村民フォーラム実行委員会  
北城21852 / 尾川耕  
Tel:72-7460 Fax:72-7465  
e-mail:tagayasu@hakuba.jp

## ご報告

### 第13回フォーラムのテーマ 議員の役割と住民との連携

開催日時： 4月18日（火）/ 19:00~21:00  
場 所： 白馬村ウイング21 2F会議室  
参加人数： 3名（白馬村3名）

去る4月18日、住民とは何か？議員とは何か？行政とは何か？を改めて見直してみようと、2年前の議員選挙で、30年ぶりに30歳大町市議として初当選した八木聡氏を講師に招き、議員の役割と住民の連携をテーマとして、第13回白馬村民フォーラムを開催しました。尚、参加者は3名でした。

八木議員が2年間の議員活動を通して得たこと、議会の役割とは、議員の仕事とは、議会制民主主義とは、これらについての考え悩んだことなどの話をいただいた後、限られた時間での真剣な討議を行いました。下記のように提言として纏めましたので、ここにご報告申し上げます。

### ～ 提言 ～

#### まずは“住民ありき”

「地方公共団体（村）における民主的にして能率的な行政の確率をはかるとともに、地方公共団体（村）の健全な発達を保障することを目的とする。」と地方自治法に定めてあります。この法には、初めに「住民」の権利と義務が明示されています。その後、「議会」、「行政」が定められています。村のあり方をはじめに決めるのは「住民」なのです。

#### 議会は良心を代表する

議員は、住民の直接選挙によって選ばれ、住民全体の代表者として議会を構成し、議会活動を通じて住民の個別意志を総合して村としての意思を形成する任務を有しています。議員の権限のなかで最も重要で基本的なものは表決権です。即ち、賛成か反対の否かを表示する権限です。議会が村の意思決定機関であることからして議員の存在意義はここに集約されます。十分に調査をし、住民の利益そして良心に照らし合わせて的確な判断が求められるのは当然です。

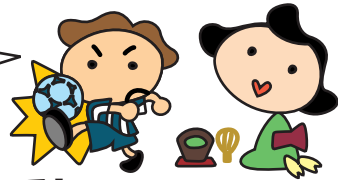
#### 議員は常に住民とともに

「住みやすい社会」の実現は住民の政治への主体的な取り組みなしにはあり得ません。そして、議員の役割は、住民と常に連携をしてその活動を支えていかなばなりません。

2005年4月18日  
白馬村民フォーラム  
代表 渡辺俊夫

## 開催要項

中学生・在学生の  
ご参加もOK! だよ。



第14回  
テーマ:

### 待ったなし! 統廃合。 白馬高校改革プランをみんなの手で!

村民フォーラムでは、設立時の初めてのテーマに白馬高校について語り合う場を設けました。それから2年、県立高校の統廃合問題が県教育委員会が設置した「高校改革プラン推進委員会」によって議論され始め、本年度中に、実施計画を取りまとめる方針で動き始めました。

白馬が属する第4通学の学校数を現在の20校から17校へ減らす目安も設けられました。今まさに「地域に根差した高校づくり」(県教委「高校再編整備に関わる魅力づくりの例」)が求められています。

これから高校生に進む子供達やその親、白馬・小谷・その他周辺地域の皆様と共に、声を上げて行きませんか？

多くの皆様のご参加お待ちしております。

白馬高校の問題については  
今後、フォーラム定例会以外の  
ミーティングを  
開催したいと思っています。

場所は  
ふれあいセンター  
西側の入口から  
入って下さい



開催日： 6月20日（月）

日時： 19:00~21:00

場所： 白馬村ふれあいセンター 2F 老人いこい室

参加資格： テーマに興味がある方ならどなたでも、年齢・性別・居住地・国籍等に関わらず参加できます。（但し、日本語のみでのフォーラムです）

参加定員： 資料配布の都合により、参加希望者はできるだけ事前にご連絡お願い致します。（当日参加可能）

参加費： 500円（資料準備として）

資料提供

・村民フォーラム実行委員会

高校生以下は  
無料です。

8月は  
第4週に  
開催します

## 今後のテーマ予定

- ・第15回テーマ「バイオマスエネルギー～てんぷら油のリサイクル」を予定 8月22日（月）  
菜種の栽培から、植物油の生成、そして廃油を軽油に変換！具体的な取り組みへ。
- ・第16回以降のテーマ 募集中!!（子育て、等）10月中旬（偶数月第3月曜日開催）

### 皆様から頂いたご意見

北アルプスの麓にあり、素晴らしい自然環境のなかにある白馬高校ですが、存続の危機に立たされている報道をこのところ目にします。「現状の白馬高では仕方がないのかなあ、」とも思いますが、今こそ、どうして存続できないのか? 人気がないのか? 再度、考えてみる必要があるのではないのでしょうか。もしハード面、ソフト面で子供たちにとって魅力ある高校であれば、遠くからでも白馬高に入りたいという子でいっぱいになるでしょう。一刻も早く「どんな白馬高だったらいいか、」小学生、中学生、在校生の意見を聞いて、その為に白馬村民をはじめ、協力してくれる人を募り、パッション(情熱)、ミッション(使命感)、アクション(行動)を持って、白馬高校の存続に向けて皆で頑張らなければいけないのでは・・・白馬高が変わることによって白馬村も元気になるような気がします。

～北城在住2児の母より

フォーラムで統廃合の恐れがあるといち早く取り上げ議論したことを村に提言したはずですが入学者数は減り、3コース制から2コース制になり、それでもスキーやいろいろな面でがんばる生徒たちを見るにつけ、若きパワーをもらっています。高齢化社会に向かう今、元気な高校生の姿が見られなくなったらゾッとします。

是非多くの方で白馬校のあり方を考えていただき、地域に貢献できる若者がたくさん育つことを願っています。

～白馬高校生と中学生を持つ母親より

### 「白馬高校普通科からの脱却私案」より

村民有志と元白馬高校PTA会長・当フォーラム元代表が、白馬高の将来像や改革についての私案をまとめて、県教育委員会に提出しました。その内容は、「普通高校」から「専門高校」へ。ウィンタースポーツ学科、リゾートビジネス学科、山岳環境学科、農林環境学科の4つの専門学科を新設を提案しています。また、学校運営を「住民が中心となって構成する評議委員会を設け、企画、営業、運営を総務する」「本校の教師、講師は、なるべく地元、地域の有能な人材を集めることにより地域の活性化を図る」「白馬村、小谷村の生徒は自宅通学とするが、それ以外の生徒は全寮制とする。寮は村内及び近隣市町村の遊休宿泊施設を活用する」など、ユニークな提案もなされています。その他詳細等についてはHPをご覧ください。



### 提示へ広がる不安

**統廃合対象高校名**

**先手打った県教委 推進委員には困惑**

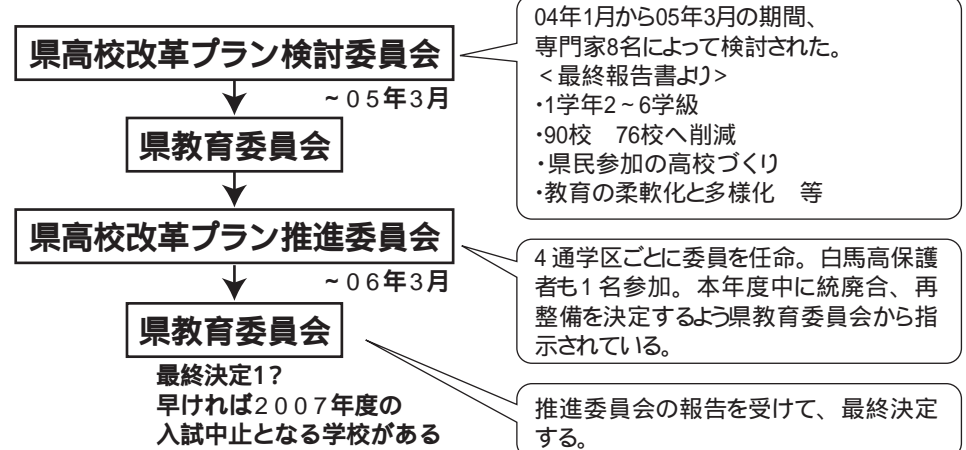
1000年歴史の白馬高校が、今年度から統廃合の対象となる。県教委は、各校の特色をどう生かすか、という点で悩んでいる。推進委員の中には、統廃合が地域の活性化につながるのか、という点で不安を抱いている。また、統廃合によって、学校の規模が小さくなり、教育の質が低下するのではないか、という点でも不安を抱いている。

**首都の**

信濃毎日新聞 6月15日

本年度中に統廃合となる学校名をあげようとしています。

### 高校再編・再整備の動き



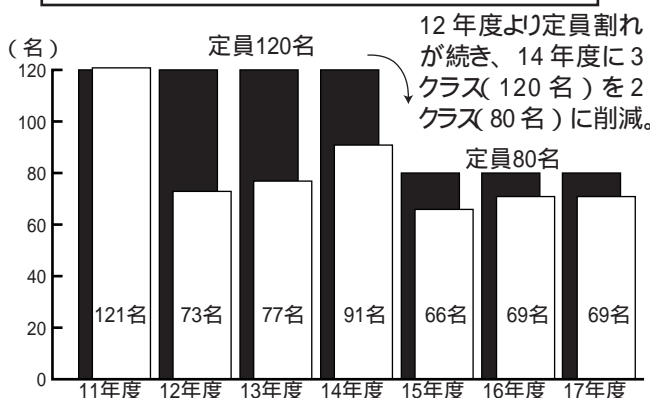
### 白馬高を存続させる為に・・・

存続に向けた活動は、「白馬高校を育てる懇話会」(白馬や小谷の両村議会、高校の代表者等)が昨年6月に要望書を、「白馬高校普通科からの脱却私案」(元白馬高校PTA会長と村民有志作成)をそれぞれ県教育委員会に提出しました。また、県議会の宮沢敏文議員による「白馬高校活性化構想私案」等もあります。

「早ければ2007年度入試から対象高校の募集を停止する」(県教委)とも言われており、より具体的な「学校改革」の提案を早急に進める必要があります。

今回のフォーラムをきっかけに、県教育委員会に対し「白馬校は存続させる」と言わしめるために、より具体的に「魅力ある学校づくり」を提言し、実現できるよう力を合わせて! 行動計画を作って行きたいと考えています。

### 白馬高校入学者数の推移



### 白馬村民フォーラムの代表が変わりました。

2003年から始まった村民フォーラムも3年目を迎えました。代表も渡邊から事務局であった尾川に交代し、新たな体制で始めます。みんなの「ざっくばらん」な声、未来を熱く想い・考える声を集めて、村づくりの担い手の一つとして活動を展開し、また、他の民間団体や村議会(今回の村議選で議員になった元代表や他の議員の皆様)、行政各機関等にも、今まで以上に積極的に連携できるよう協力して行きたいと思っておりますので、今後とも宜しくお願いいたします。

**白馬高校存続求め私案**

村有志、県教委にきょう提出

信濃毎日新聞 6月7日